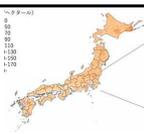


令和6年度農業試験場で実施している研究等一覧

【栽培部】

研究テーマ（実施年度）	研究概要
競争力アップ技術開発 ①イチゴ「まりひめ」高品質・多収に向けた環境制御時の効率的な養水分管理技術開発（R5～7）	 品質の安定化と増収を両立するため、植物体の要求量に応じた適正な養水分管理技術を開発する。 ・適正な日射比例式給液技術の確立 ・生育ステージ別の適正な給排水EC管理技術の開発
基礎研究 ②次世代の野菜・花きの新品種素材の育成（R3～7 継続）	 良食味で炭疽病に強いイチゴや、茎葉が強固で秀品率が高いスプレーギクを育種するための優良な育種素材や系統を作成する ・炭疽病耐病性、高品質、多収なイチゴ優良系統 ・茎葉が強固で花持ちが良い夏秋型スプレーギクの優良系統
③水稲奨励品種決定調査（R6～8 継続）	 高温登熟性に優れる高品質・良食味品種を選定する ・県奨励品種決定のための特性調査 ・新奨励品種の栽培試験 ・原原種、原種の維持更新

【環境部】

競争力アップ技術開発 ④葉かび病からブランドミニトマトを守るための緊急対策（R4～6）	 ミニトマト葉かび病の発生生態を解明し、防除対策を確立する。 ・発生生態調査による防除適期の解明 ・薬剤及び耕種的防除の効果検証
競争力アップ技術開発 ⑤辛みのないシントウ県オリジナル新品種「ししわかまる」の高収益栽培技術確立（R4～6）	 シントウ「ししわかまる」の収量及び秀品率向上に向けた栽培技術を開発する。 ・枝の誘引・整枝技術の検討 ・養分吸収特性を基にした肥培管理技術
競争力アップ技術開発 ⑥イチゴ「まりひめ」の炭疽病対策（R5～7）	 イチゴ「まりひめ」の効果的な炭疽病防除技術として、病原菌感染リスクが低い親株育成方法を確立する。 ・病原菌感染リスク評価に基づく親株育成時期 ・感染リスクの低い時期における親株の栽培管理手法の確立 ・薬剤による効果的な感染予防方法の確立
競争力アップ技術開発 ⑦低コストかつ持続可能なショウガ施肥体系の確立（R6～8）	 プラスチックを使用しない緩効性肥料と有機質資材を配合した、安価で価格変動の少ない肥料による施肥体系を確立する。 ・養分吸収特性に適合する配合肥料の開発 ・新肥料を用いた施肥体系の確立と実証
消費・安全対策交付金 ⑧特産農作物病害虫防除（R4～6 継続）	 本県の基幹農作物の安定生産と安全性を確保するために必要な病害虫防除技術を開発する。 ・薬剤抵抗性病害虫の発生状況調査の手法確立 ・農業に頼れない難防除病害虫の管理手法の確立
農作物病害虫防除所：植物防疫事業交付金 ⑨病害虫発生予察・発生状況調査（R6～8 継続）	 病害虫発生予察情報を提供するとともに、早急防除が必要な場合は警報・注意報を、新規病害虫発生の場合は特殊報を発表する。 ・病害虫の発生動向調査 ・病害虫の診断同定
農林水産省委託事業 ⑩農地土壌炭素貯留等基礎調査事業（R5～8 全国調査）	 農地土壌をCO2の吸収源として利用することにより、温室効果ガス削減を図る。 ・県内農耕地の炭素貯留量調査 ・有機物連用による土壌炭素貯留効果